

## 活動目的 Activity purpose

近年、ニホンジカの個体数が全国的に増加傾向にあり、不破高校周辺の垂井町でも農林業被害が拡大している。私たちは周辺の植生衰退度や農林業被害の状況、ニホンジカの食性や行動調査を行い、ヒトとシカが共生する地域づくりを目標に活動しています。

ヒトとシカが共生する地域づくりを目指して

## 地域連携 local cooperation

垂井町有害鳥獣捕獲隊を始めとする地元の猟師の方々に、シカの生態やわなの設置方法等についてご教示いただいています。また、駆除されたニホンジカやイノシシを提供していただき、研究に活用しています。得られたデータは定期的に地元猟師の方々に提供し、捕獲率の向上や農林業被害の防除に役立てていただく予定です。

また、地元の教育機関や大学等にも専門的な調査方法についてご教示いただき、部員のスキルアップと知識向上にお力添えいただいています。



## これまでの主な成果 Achievement

### 【参加した発表活動】

H29.11.3  
岐阜県総合文化祭自然科学系部  
活動研究発表交流会 特別賞

H29.11.4  
愛知工業大学主催  
AITサイエンス大賞 奨励賞

H29.12.2  
第7回岐阜清流未来の会議

H29.12.9  
日本動物学会中部支部大会  
高校生ポスター発表

H30.3.17  
第65回日本生態学会大会  
高校生ポスター発表

H30.3.28  
第129回日本森林学会大会  
高校生ポスター発表

H30.7.14  
ワクワクフェスタ2018

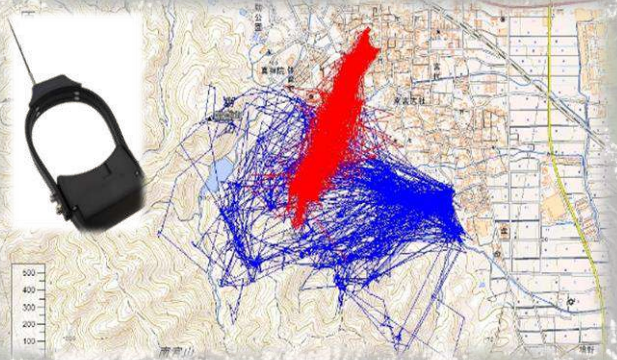
H30.7.30~8.1  
第8回 高校生バイオサミットin  
鶴岡



### 【調査活動】

#### 〈GPS首輪によるニホンジカの行動調査〉

ニホンジカのオスとメス1頭ずつにGPS付き首輪を装着し、位置情報データを取得しています。行動範囲や一日の平均移動距離、季節や時間ごとの行動パターンなどの解析を行っています。



#### 〈胃内容物調査〉

ニホンジカの第一胃から胃内容物を取り出し、ポイントフレーム法という手法で、どのような植物をどのくらいの割合で食べているかデータを収集しています。時期によっては、柿や米などの農作物も確認されています。



他にも赤外線センサーカメラを用いた調査など、様々な調査を行っています。

## わたしたちが目指す未来 Our Goal

現在、不破高校の裏山にあたる南宮山では下層植生が衰退し、それに伴って生態系のバランスも崩れてきています。周辺地域では、ニホンジカを始めとした哺乳動物による農業被害も数多く報告され、ヒトとニホンジカとの間に軋轢が生まれています。わたしたちは研究活動を通して、ニホンジカの個体数密度の適正値を求めたり、ニホンジカの安価で簡便な密度調査法等を考案したいと思っています。そして、それらのデータをもとに、さらに地域との連携を深め、衰退した地元の里山を緑豊かなよりよい環境にしていくことが、わたしたちの大きな目標です。



緑豊かな里山に